

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月30日

計画の名称	JR八尾駅周辺南地区における防災性の向上（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	八尾市												
計画の目標	当該地区については、狭小な道路網が広がっている地区であり、災害時には建物が倒壊し道路が寸断されることで避難所にたどり着くまでに長時間を要することから、JR八尾駅前線の事業用地を活用し避難路を確保することで防災性の向上を図る。また、警察等との通学路の合同点検や安全教育等のソフト事業、遊び場の安全対策を併せて実施することにより、子どもの安全性を向上させ、JR八尾駅周辺南地区における「防災安全」を核にした地域力の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	564	A	546	B	0	C	18	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.19	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	円滑に避難できる経路を確保することで、指定避難地までの避難時間を、現状20分から整備後14分に短縮する。 避難が困難な地点から指定避難地まで円滑に避難できる経路を確保することで避難時間を算出 避難が困難な地点からの距離 ÷ 歩行速度 = 避難時間	20分	20分	14分
2	青色防犯パトロール従事者の新規登録者数を0人から10人にする。 青色防犯パトロール従事者の新規登録者数を調査 現況値（H30当初）からの青色防犯パトロール従事者の新規登録者数（H30～H34まで）の合計人数	0人	5人	10人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	都市防災総合推進事業 ( JR八尾駅周辺南地区 )	避難路の整備 ( L=140m )	八尾市						546		-
											小計						546		
											合計						546		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本市都市整備部内の組織にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和5年10月

公表の方法

本市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

避難路の整備を行うことで、指定避難地である永畑小学校までの避難時間の短縮することができ、地域の防災性が向上した。青色防犯パトロール従事者の新規登録者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から計画期間内において講習会及びパトロールが廃止となったことから目標を達成することはできなかったが、当該地域においては、校区内の防犯パトロールや地域一斉歳末夜警、通学路の合同点検、地域住民による登下校安全指導に取り組み、防災・安全に関する地域力は向上していると考えられる。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

都市計画道路の用地買収を進めることで延焼遮断などの効果が発現した。

特記事項（今後の方針等）

JR八尾駅周辺南地区については、狭小な道路網が広がっている地区であることから、緊急車両のアクセス性の向上及び延焼遮断帯などの効果が期待できる都市計画道路JR八尾駅前線の整備を進める。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指定避難地までの避難時間の短縮	
	最終目標値	14分
	最終実績値	14分
2	青色防犯パトロール従事者の新規登録者数	
	最終目標値	10人 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から青色防犯パトロールの講習会が令和元年度より廃止となったため
	最終実績値	3人